

経済学専攻

経済理論、経済政策 および制度・歴史の アカデミズムを求めて

現在われわれを取り巻く経済環境の変化は急速です。少子高齢化やグローバル化の進展というトレンドの中で、自然災害からの復興、財政赤字の深刻化など日本経済は多くの難問を抱えています。こうした諸問題に対し、経済学のオーソドックスな分析方法を基礎として多面的に接近することが経済学専攻の特徴です。

本専攻はミクロ・マクロ経済学の理論的發展を目指す「経済理論系」、財政金融政策に関わる実践的問題を取り扱う「経済政策Ⅰ系」、国際経済政策・産業政策などのあり方を探る「経済政策Ⅱ系」、経済システムの多様性と変化を追究する「制度・歴史系」の4つの系から成り立っています。多様な見地に立つ4つの系の存在により、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけることが可能です。

主なリサーチ・ペーパー(RP)、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

医療経済マネジメントコース所属教員

経営者コース所属教員

経済理論系

- RP** 自治体病院と一部事務組合病院について
—公立陶生病院の事例研究—
- 修論** チーム医療のインセンティブ設計
—米国Group Practiceの経済学的分析からの学びを日本のチーム医療へ展開する—
- 修論** 大都市既成市街地(名古屋市区別)における人口変動の住宅地価への影響
- 博論** 経済成長要因
—中国地域経済及びクロスカントリーの分析—
- 博論** 不完全所有権と非慈善的経済政策の下での要素移動



岡野 衛士
専門分野: マクロ経済学
開放マクロ経済学
担当科目: 金融論
現在の研究課題: 開放経済での金融政策



澤野 孝一朗
専門分野: ミクロ経済学
応用ミクロ経済学
担当科目: ミクロ経済学、医療経済
現在の研究課題: 医療・航空・公共サービス



山田 恵里
専門分野: 都市経済学、地域経済学
担当科目: 都市経済学
現在の研究課題: 産業クラスターと地域経済の生産性に関する研究



川端 康
専門分野: 国際貿易論
担当科目: 国際経済学
現在の研究課題: 地域貿易協定



外谷 英樹
専門分野: マクロ経済学、経済成長論
担当科目: マクロ経済学
現在の研究課題: 自然災害による被害と経済発展の関係についての研究

経済政策Ⅰ系

- RP** 看護師の限界生産力と賃金との乖離
- 修論** 法人税法における交際費課税制度の考察
—企業活動への影響を中心に—
- 修論** 消費税における事業者免税点制度に関する一考察
—益税問題と課税売上高の判定基準を中心として—
- 博論** 生活基盤型の社会資本および公共投資に関する実証的研究
- 博論** 大都市自治体における財政の規律と行政評価
—名古屋市を中心とした分析と考察—



濱口 泰代
専門分野: 実験経済学、公共経済学
担当科目: 実験経済学
現在の研究課題: リニエンシー制度の談合抑止効果に関する実験研究



湯之上 英雄
専門分野: 公共経済学、地方財政論
担当科目: 地方財政論
現在の研究課題: 公共政策の実証分析



森田 雄一
専門分野: 経済理論、財政学
担当科目: 財政政策論
現在の研究課題: 所得分配と経済成長



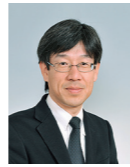
横山 和輝
専門分野: 金融論、経済史
担当科目: 金融政策論
現在の研究課題: 金融発展と人的資本形成の歴史分析

経済政策Ⅱ系

- RP** 留保金課税と内部留保の活用の検討
- 修論** 水道事業の規模の経済性の再検証
- 修論** 日本のODAがインドネシアの経済成長に与えた影響の考察
- 修論** 親の所得階層が子どもの所得、幸福度に及ぼす影響の分析
- 博論** 震災による電力供給制約が我が国の経済に与える影響に関する応用
- 博論** フードサプライチェーンにおける需給調整と食品ロスの発生メカニズム



板倉 健
専門分野: 国際経済、貿易政策
担当科目: 国際経済関係論
現在の研究課題: グローバル CGE モデルの応用と開発



中山 徳良
専門分野: 産業組織論、公益事業論
担当科目: 産業組織論、医療経済評価
現在の研究課題: 規制産業の効率性・生産性に関する研究



和久津 尚彦
専門分野: 産業組織論、医療経済学
担当科目: 医療産業論
現在の研究課題: イノベーションおよび薬価制度のあり方に関する経済分析



内田 真輔
専門分野: 環境経済学、応用計量経済学
担当科目: 環境資源経済論
現在の研究課題: 気候変動の経済分析
資源分布と経済成長



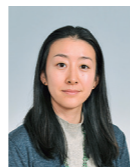
山本 陽子
専門分野: 労働経済学、社会保障論
担当科目: 社会保障論
現在の研究課題: ワーク・ライフ・バランスと女性の就業、所得格差への影響の分析

制度・歴史系

- RP** スウェーデン福祉国家の形成に関する諸学説
- 修論** 戦時期における豊田業団の事業展開
—綿紡績業の企業整備と軍需転換をめぐって—
- 修論** 中国における日系企業の現地化に関する一考察
- 博論** 地方型アパレル産業の形成と発展
—産地企業の協調と競争・組織能力—
- 博論** ハイブリッド車/電気自動車の開発と企業間関係
—基幹技術のアウトソーシング・マネジメント—



木谷 名都子
専門分野: 外国経済史
担当科目: 外国経済史
現在の研究課題: 20世紀前半におけるイギリス帝国と日本の経済関係



藤田 菜々子
専門分野: 経済学史、制度経済学
担当科目: 経済学史
現在の研究課題: グンナー・ミュルダールの経済学説の研究



平野 大昌
専門分野: 労働経済学、応用計量経済学
担当科目: 労使関係論
現在の研究課題: 企業の生産性と労働環境の関係についての研究



山口 明日香
専門分野: 日本経済史
担当科目: 日本経済史
現在の研究課題: 日本の産業化と資源・エネルギー利用

VOICE 修了生の声①

大学院で学んだこと

佐野 翔一さん
(経済学専攻)



私の研究テーマは地方銀行の店舗分布です。もともと私は経済学部出身ではないのですが学部時代にこのテーマに興味を持ち経済学研究科の門を叩きました。

大学院では、先生方に指導していただきながら経済学を一から学び、研究を進めることができました。また、就職に関しても就職支援室をはじめ多くの方々に支援いただき無事就職することができました。

私は総合大学である名古屋市立大学大学院に進学し先生方をはじめ多くの方に出会い、学ぶことができとても有意義な時間を過ごすことができました。

VOICE 修了生の声②

迷わず進め、大学院へ

中村 圭吾さん
(経済学専攻)



学び直しをするのに、年齢は障害ではないのだ、これは入学後の実感です。社会人として仕事をしながら、2年間で論文作成ができるのか。勤務後、毎日授業に通うことができるのかと心配しましたが、本学は昼夜間講制を取り、昼間履修ができない社会人でも、平日夜間と土曜日、夏期の集中講義を履修して、2年で修士の学位を取得することが可能です。

指導教員には、夜間じっくりとご指導をいただき、教室と研究室、図書館を巡り、2年間で充実して過ごすことができました。

私の研究テーマは、医療保険財政です。地方行政の現場で、国保や高齢者医療のコスト問題を考えています。改めて経済理論を学び直し、今、充実して毎日の仕事を進めることができています。迷わず進め、大学院へ。